



企画 とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク

栃木県内の自然体験活動団体の輪を広げるためのネットワーキング

コロナ禍で自然体験の機会が減っている子どもたちへの活動について考える意見交換会です。

日時：9月27日（火）18：30～20：00

会場：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 3階会議室4

対象：子ども向けの自然体験活動を実践している団体

申込み：とちぎ市民活動推進センターくららまで



企画 とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら、宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ

ファンドレイジングセミナー&助成金合同説明会 2022

日時：9月29日（木）10：00～16：45

10：00～12：00 ファンドレイジングセミナー「NPOの財源構成を考えてみよう！」

◎講師：池田秀昭氏（認定ファンドレイザー）

13：30～16：45 助成金合同説明会 2022

◎とちぎコープ・中央労働金庫・栃木県共同募金会・とちぎコミュニティ基金

会場：①キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 2階交流スペース【サテライト】一定員：15名

②とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら【本会場】一定員：20名

③オンライン【Zoom】一定員：50名

申込みフォーム →



対象：栃木県内で活動する非営利法人、市民活動団体・ボランティアグループ、地縁組織

申込み：①申込みフォーム ②FAX 028-623-3465 ③TEL 028-623-3455 ④くららまで

くららのSNS

イベントレポート 協働のまちづくりセミナー

地域とともにつくる共生社会～困難を抱える子ども・若者～

の学びと就労を支え、多様性を認め合える地域に～



Facebook



Twitter



Instagram



助成金情報



こくみん共済 coop

地域貢献助成

「人と人とがささえあい、安心して暮らせる未来へ」をテーマに、これらの活動の輪をむすび、安心のネットワークをひろげていく取り組みを支援します。

対象事業：地域の自然環境・生態系を守る活動、温暖化防止活動や循環型社会づくり活動、子どもや親子の孤立を防ぎ、地域とのつながりを生み出す活動など

対象団体：NPO 法人・一般社団法人・任意団体・市民団体など、非営利法人または団体で、設立1年以上の活動実績があり、直近の年間収入が300万円以下であること

助成額：上限30万円（総額2,000万円）

対象期間：令和5年1月1日～12月31日

応募締切：令和4年9月16日（金）

問合せ：こくみん共済 coop メール 90_shakaikouken@zenrosai.coop



独立行政法人 福祉医療機構

子供の未来応援基金

貧困の状況にある子供たちを支援する団体に、支援金を交付します。

対象事業：子供の貧困対策のための事業（学習支援・居場所づくり・生活支援・就労支援など）

対象団体：公益社団（財団）法人・NPO 法人・一般社団（財団）法人・その他ボランティア団体や町内会など、非営利かつ公益に質する活動を行う任意団体

助成額：【事業A】上限300万円【事業B】30万円または100万円

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

応募締切：令和4年9月20日（火）

問合せ：福祉医療機構 TEL 03-3438-4756 FAX 03-3438-0218



公益財団法人 住友生命健康財団

スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム

スポーツを楽しむ文化が地域に根つき、社会の新しい価値を創り出すような取り組みを応援します。

対象事業：【一般】地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツ

【特定】心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツ

対象団体：非営利団体（法人格の種類や有無を問わない）で、団体としての活動実績があること

助成額：【チャレンジコース】上限50万円（20件程度）

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

【アドバンスコース】上限300万円（5件程度）

対象期間：令和5年4月1日～令和7年3月31日

応募締切：令和4年9月22日（木）

問合せ：住友生命健康財団 TEL 03-5925-8660 FAX 03-3352-2021

メール sports@am.sumitomolife.co.jp



登録団体からのお知らせ・イベント情報

蔵フト麦酒ウォーク実行委員会

蔵フト麦酒ウォーク2022

『麦処とちぎ』のクラフトビールと、美味しいご飯を集めた街歩きの二日間。

日時：令和4年9月10日（土）、9月11日（日）11：00～17：00

場所：栃木市嘉右衛門町伝建地区周辺

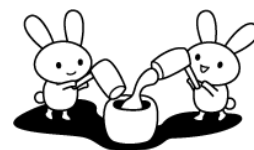
内容：クラフトビール・料理・雑貨等の販売、石蔵での音楽コンサート

◎入場無料

問合せ：蔵フト麦酒ウォーク実行委員会

メール ritsunosuke.kensyukai@gmail.com

とちぎ夢ファーレ助成事業



NPO 法人 障がい者の一人暮らしを考える会

あおぞら指定居宅介護 ヘルパー募集

あおぞら指定居宅介護は令和4年10月～令和5年1月に開所を予定しています。

オープニングスタッフとしてヘルパーの方を募集します。

募集対象：介護者初任者の資格をもつ方 1名

サービス提供責任者の資格をもつ方 1名

時給：1,000円～1,200円

選考方法：面接（随時）毎週金曜日 14：00～15：00

問合せ：障がい者の一人暮らしを考える会

TEL 090-7701-3130（川俣）

※言葉が聞き取りにくい場合があります。



大平わいわいテラス

かかしとマルシェ in 大平かかしの里

様々なイベントが大平かかしの里で楽しめます♪ぜひご参加ください！

日時：令和4年9月18日（日）10：00～16：00

場所：かかしの里

内容：かかしコンテスト、ビブリオバトル、ダンスステージ、ハンドメイド・飲食マルシェ、サツマイモ掘り体験、火起こし体験など

問合せ：大平わいわいテラス

メール waiwaiibento@gmail.com



レポート 令和4年度 協働のまちづくりセミナー

地域とともにつくる共生社会～困難を抱える子ども・若者の学びと就労を支え、多様性を認め合える地域に～

鹿沼市で不登校・ひきこもり・発達障害の子ども・若者が生きやすい社会づくりに取り組んでいる NPO 法人 CCV 理事長の福田由美さんにご講演いただきました。



小学校の教員を続けるうちに、子どもたちをこれぐらいの目標に近づけなければ！という義務感が大きくなり、そう思えば思うほど、それについてこられない子どもたちが増えてきたように感じて教育相談を学ぶことにした。不登校の子どもに接する仕事をしようと思っていたが、配属された学校で出会ったのは落ち着きがなく元気いっぱいな子どもたち。そこから発達障害について考えていくことに。まずは学校内の倉庫を掃除して子どもたちの居場所をつくってみた。教室では落ち着きがない子どもが、個室で接すると安心して話すことができ、勉強に集中できることがわかり、学校の理解を得て通級指導教室ができた。発達障害の子どもには接する大人が多く必要で、教員の増員とボランティアの協力を得た。教員の言葉は聞き入れられない子も、ボランティアの言葉は聞くことができる。学校では虚勢を張ったり、沈んでしまう子も、地域活動に参加したり、お寺や神社など誰でもウェルカムな場所に行くと、生き生きとリラックスして過ごすことができる。様々な年齢・立場の人たちとの関わりがその子を育ててくれると実感した。

卒業生たちに、なぜ学校ではやりづらかったのかを聞くと、五感の情報を統合するのが難しいという。音の取舍選択ができずに先生の声のほかにも様々な音が入ってきてしまう子、においに敏感な子、話す・聞く・メモをとるなどの作業を同時にできない子など。だけど、一人ひとりの感性や能力は本当にすばらしい。

学校に行けなくても、学びたいことが学べる場所、生きていく術を学べる場所の必要を感じて、自宅でフリースクールをはじめた。そこで、障害福祉サービスの NPO をつくりたい母親たちと出会い、教育と福祉を併せた NPO を設立した。フリースクール部門と障害福祉サービス部門があり、学習支援・生活支援・就労支援・余暇支援・保護者支援を行っている。地域に根ざし、行政・学校・企業・住民等と協働して、就労体験や運転免許取得（高卒単位に認定）、農業や高齢者施設での就労、子ども食堂と連携した学習支援、地場産業をいかした商品・仕事づくりなどに取り組んでいる。「発達障害の方が生きやすい町はすべての人が生きやすい町」になると思う。



福田さんのお話は、教員時代の教え子や CCV の利用者の一人ひとりを大切に想う、子ども・若者への愛にあふれていました。その人が生きやすい環境をつくるために、教育と福祉のスタッフが多面的に寄り添い、地域と協働して自立を支えていく。画一的な生き方を求めず、パズルが合わさるように、得意なことが人の役に立ち、苦手なことは誰かが埋めてくれる。多様性を認め合える地域の姿を学ぶことができました。

とちぎ市民活動推進センターくらはとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館内

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



※くらはは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています。

編集後記

最近外国ルーツのこどもについてのほんをよんでいます。よんでいるほんに“情報格差”という話ができます。やさしい日本語は情報格差をへらす方法の一つです。例えば、外国人や高齢者、こどもなどに配慮して、みじかくわかりやすくはなします。工夫やアイデアでくらしやすいまちになるといいですね。(大塚)

..くらは登録団体活動紹介..

医療生協栃木

登録 No. 0602

医療生協栃木は、準備期間 3 ヶ月を経て栃木保健医療生活協同組合栃木班として、令和 3 年 11 月 30 日に設立しました。保健医療生協の理念に基づき「地域まるごと健康づくり」を実践しています。



グラウンド・ゴルフ班は、毎週土曜日の午前中、大平運動公園で和気藹々練習に励んでいます。

健康づくり班は、奇数月の第 3 金曜日（変更になる場合もある）、キョクトウとちぎ蔵の街楽習館でレインボー体操・脳トレ・健康チェックなどを行っています。

ひまわり班は、会員がアイデアを出し合ってやりたいことを企画します。

ハイキング・ランチ会・よしあかり工作など計画中です。また、会報紙「健康とくらし」を手配りしてお互いに気にかけて合いながら活動しています。



AAわたらせグループ

登録 No. 0603

AA とはアルコールクス・アノニマスという自助グループです。

私たちはみな、飲酒の問題から解放され、飲まないで生きていきたいと願っている仲間の集まりです。

AA わたらせグループではとちぎ市民活動推進センターくらはをお借りして、毎週木曜日 19 時～20 時半でミーティング（個人の体験談を話す）を行っています。

飲酒に問題があるなと感じている当事者、身近に飲酒問題で悩んでいる方がいるご家族、援助職の方などどなたでも参加いただけます。

事前申し込みや連絡などなしで会場に来ていただければ参加できます。その他、AA に関するお問い合わせは関東甲信越セントラルオフィスまでよろしくお願いいたします。

TEL : 03-5957-3506

ホームページ : <http://aa-kkse.net>

皆川地区まちづくり協議会

登録 No. 0604

～皆川の歴史と文化～

コロナが猛威を振るう昨今、今までの生活環境が一変、行事や祭り集まり事の変化。感染症も古来から数多く有ります。比較的、島国のため遅く、コロナにおいては、舟での移動から飛行機での移動の為、数週間での発生、人の出入りが早い為、感染する率も多い。これを期に、社会構造も変え、IT化を進め、より良い生活に。

皆川に（旧栃木市）の7割の古墳が在ると書かれています。協議会はアンケートをとり、城山を軸に開発を、が多かったため、我が皆川地区街づくり協議会の歴史文化部会は、「皆川の歴史と文化」パンフレットを作り案内説明を行っています。「市指定の文化財13」について調べるに当たり、最後まで新聞記事（先人の歴史家、日向野徳久さんの記事）のみである、角道山古墳が、栃木カントリークラブ内にあります。何時でも調べて下さいとのこと。皆川氏（長沼氏）は、小山系列で、藤原秀郷（8代略）小山政光の子で次男、長沼宗政・・・から皆川氏に広照（戦国～江戸初期に）東京に今でも小字で皆川の名が有ります。江戸時代に皆川氏の屋敷がありました。



シルバー大学よさこいOB会

登録 No. 0605

クラブ活動を通して楽しさを共有した仲間たち17名がOB会として四年前に発足しました。

学生時代から福祉施設訪問やイベントに参加し「よさこい」を披露、施設では拙い踊りにも手拍子を添えて笑顔で応えてくれました。逆に元気を頂きました。

現在、2回/月の練習に励んでいます。新型コロナ拡大で施設からのお誘いは皆無です。そんな折、五家英子さんより声が掛かり、5月には足利市鑓阿寺境内で楽しく踊ってきました。7月には栃木市文化会館にて「よさこい」を披露。今はとちぎ国体開会式演舞にむけ、五家さんグループと一緒に暑い中練習に励んでいます。



マジックステップの会

登録 No. 0606

マジックの愛好家が集まり、ワクワクした気持ちを胸に今年の4月に発足しました。技能の向上を目指し、講師として馬場廣先生をお迎えしてご指導を仰いでいます。会名は、先生が主宰するマジックホップの会からの飛躍を目指し、マジックステップの会としました。練習日は月2回、原則第2・第4金曜日午後6時30分～8時30分です。第2金曜日に先生をお迎えし、様々なジャンルのマジックを教えていただいています。第4金曜日は、会員同士で練習や情報交換を行っています。また、ボランティア活動として、マジックホップの会との合同やメンバー独自のユニットを組んで、学校・福祉施設・老人会などでマジックを披露しています。「マジックは見ている方も、演じる方も楽しい。これがマジック!!」という先生の実感を感しています。



栃木相続相談室

登録 No. 0608

私たちは、「相続」という大きなテーマに関連するお仕事をしている、土業の専門家や異業種のメンバーで構成された相続のプロフェッショナルの団体です。

目まぐるしく変わる相続の法改正の情報や、複雑な案件の事案を共有するために、メンバー同士で外部講師を呼ぶなど、定期的に勉強会を行っております。

また、一般市民に向けた、「はじめての終活講座」や「エンディングノートの書き方」などのセミナーをおこなっており、今後は専門家による成年後見制度、信託の活用などのセミナー等も開講しようと計画を考えております。



・くらは登録団体活動紹介・

小柳捷次

登録 No. 0610

私は平成 23 年 4 月、災害ボランティア支援センターを経由して東日本大震災のボランティア活動として、栃木市内の老人福祉センターに避難していた福島県民 41 名の方の食事のお世話をさせていただきました。この時避難していた方々の別れ際の感謝の表情が今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。私はその後自治会などのボランティア活動に参加したが、縁があって栃木県シルバー大学南校に入学し、来月卒業予定です。学校では福祉学科に籍を置き福祉関係の勉強をしています。クラブは竹絵クラブ、俳句クラブなどで活動をしています。卒業後は高齢者のために今までの人生経験と大学で学んだ知識を生かして傾聴ボランティア活動が皆さんとともに出来ればいいなと思っています。

くらは登録団体活動紹介のお願い

くらはでは、情報紙にて登録団体の活動紹介を掲載しております。

- 文字数…200～300 字
- 活動の様子がわかる写真

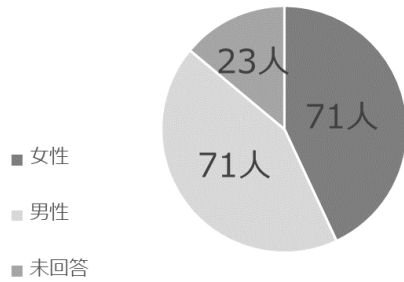
登録番号順にご連絡を差し上げております。どうぞよろしくお願い致します。

令和4年度 とちぎ市民活動推進センターくらら利用者アンケート 集計結果

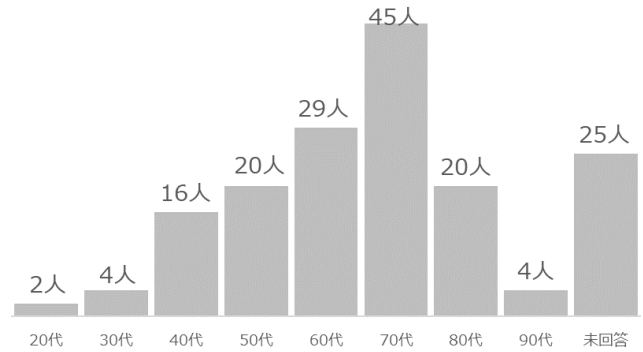
とちぎ市民活動推進センターくららのよりよい運営を考えるために、利用者の皆様にご協力いただきましたアンケートの集計結果を報告いたします。

◎実施期間：令和4年7月1日～31日 ◎回答数：165人

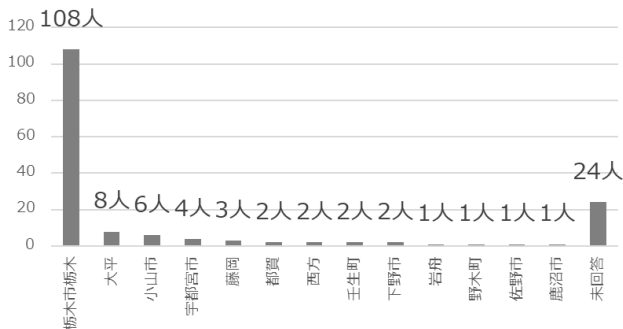
1. (1) 性別



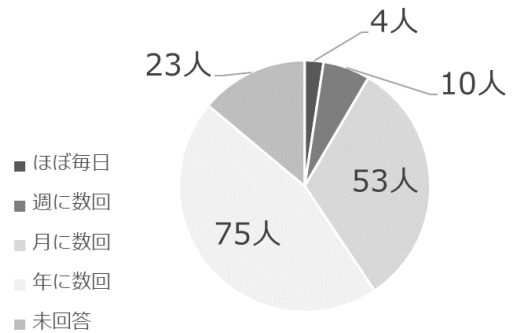
1. (2) 年齢



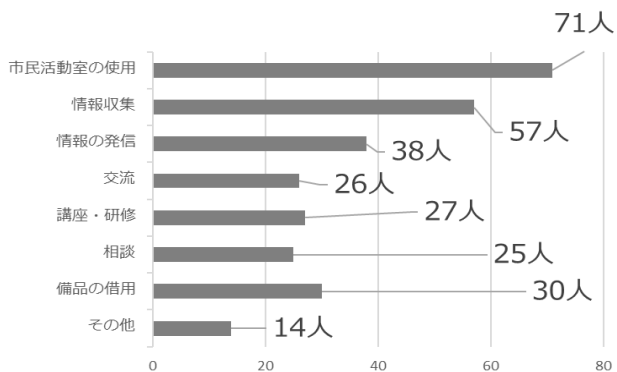
1. (3) お住まい



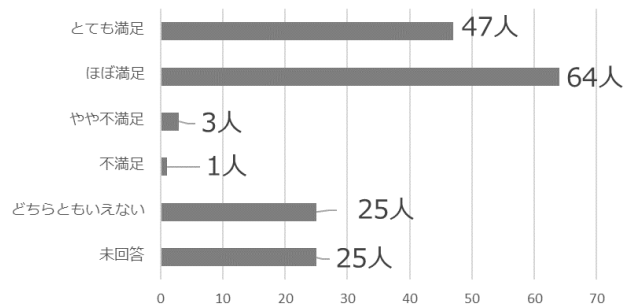
1. (4) 来館の頻度



2. くららの利用方法 (複数回答)



3. 市民活動室の利用のしやすさ

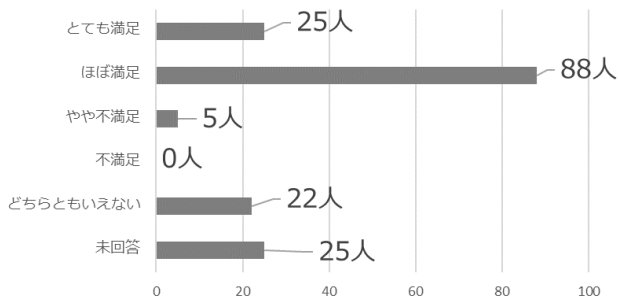


◎自由意見 (くららに期待することやご意見)

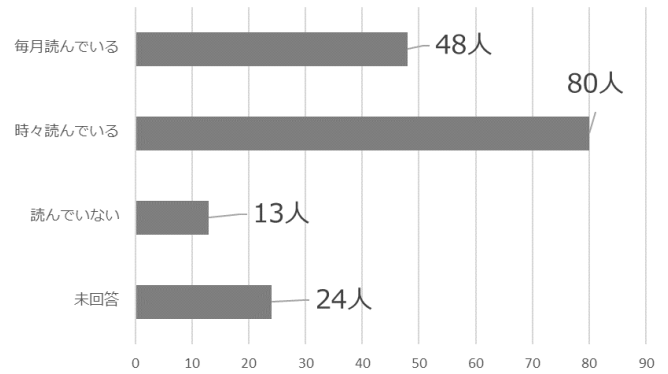
幅広い世代を対象とした生活講座／コロナ禍で我慢を強いられる子ども (小中高生) 向けのイベント／くららフェスタほどでなくても複数団体によるミニイベント／作品の展示スペースがほしい／交流スペースを活用して「くららの日」としてPRしてはどうか／スタッフが登録団体の活動を体験してはどうか／

裏面に続きます ➡

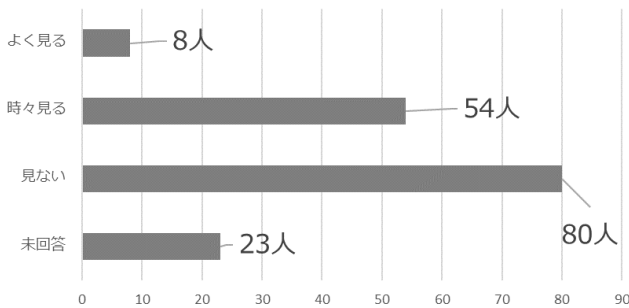
4. チラシ等の掲示物の見やすさ



5. くらら情報紙を読んでいるか

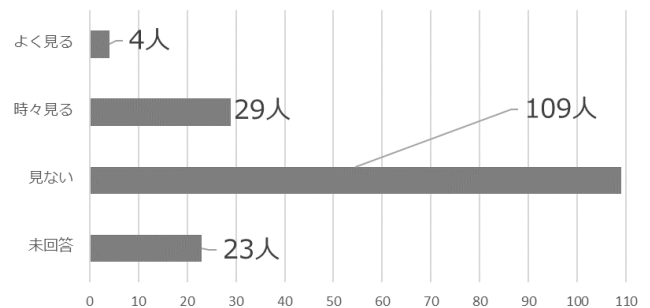


6. (1) くららのホームページは見るか

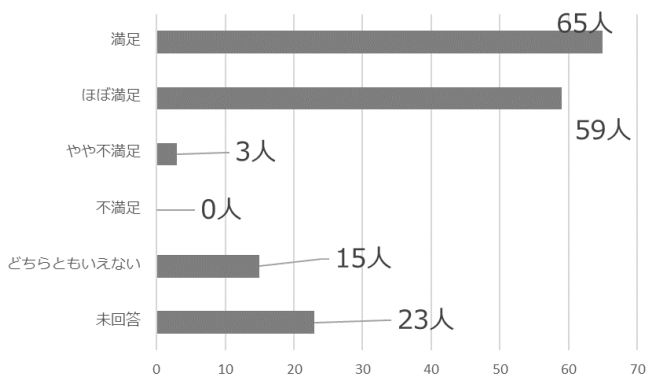


6. (2) くららのSNSは見るか

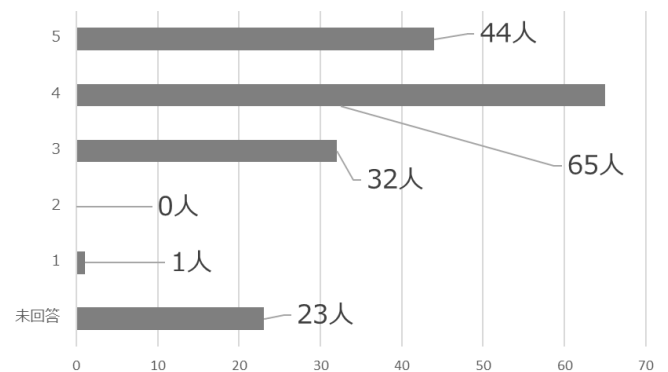
(Facebook、Twitter、Instagram)



7. 職員の対応



8. 全体的な満足度（5段階評価）



メーリングで助成金や活動情報などを流してほしい。現地に訪れなくてもスタッフと繋がっている感がほしい／パソコンやスマホを利用していない者もいるので紙媒体の宣伝物も失くさないでほしい／エレベーターで上階に直接行ってしまうことが多く掲示物や事務室に接することが少なくなった／移転してからスタッフの皆さんが事務的になっている気がする／移転前のくららの方がアットホームで好きだった／楽しい交流の場所であってほしい／多彩なゲストの話が聞けたくららで話そ！が以前と同じくらいの頻度に戻るとよい／スタッフの世代交代が進んでいるのでもう少し意見交換の機会があるとよい／登録団体のつながりを促進する企画の実施を期待／移転前は会議室や交流スペースがあったので、そこに行くとかと繋がるイメージでした。行くわくわく感や夢が広がる場所というイメージがないとただ相談や用事がある時にしか行かなくなりそうな・・・

たくさんの貴重なご意見をいただきました。ご協力いただきましてありがとうございました！